

農業振興公社だより

稲作の勉強会を開催

～角田市農業経営者会議～



△講師の橋本次長と藤井主査

角田市農業経営者会議（伊藤 稔会長）は、三月十二日、若手の農業経営者らに声掛けし、稲作の基礎技術習得のための勉強会を公社会議室で開きました。

この勉強会は、農業経営者会議が平成二十五年度活動方針の中で「若手担い手の入会」促進を掲げており、特に稲作の基礎

技術の習得を呼びかけながら、会の活動を理解してもらおうと昨年からの開催しているもの。

この日は、九人が参加し、大河原改良普及センターの橋本次長と藤井技術主査を講師に招き、育苗の段階で日頃困っていることや疑問に思っていることを質問し、それに回答してもらう形で熱心に指導を受けました。

参加者らは勉強会の成果を確認するために四月二十一日に二回目を開催し、引き続き年間を通してこの勉強会を開催することとしています。



△熱心に話を聞く参加者

◆ 発行 ◆

公益社団法人 角田市農業振興公社
〒0981-15005 宮城県角田市角田字大坊四一
電話 (0224) 63-1331
FAX (0224) 61-1511
URL <http://www.kakunou.or.jp/>

E-mail kakuda@kakunou.or.jp

税理士による代理送信で申告



△申告相談風景

角田市アグリパソコン研究会（面川義明会長）では、税理士による代理申告相談会を三月六日にJAの申告会と共催で開催しました。

この申告相談会は、この時期に大河原税務署より税理士さんを派遣して頂き開催しているもので今年で六年目になります。

当日は、会員それぞれがソリマ

子の農業簿記ソフトや確定申告作成ソフトで入力したデータを国税庁のE-TAXソフトに事前に取り込み、プリントアウトをしていたものを税理士さんに内容を確認して頂きました。

その後、税理士さんの電子署名を添付して十七名の会員が所得税や消費税、青色申告の承認届などを国税庁のE-TAXソフトを使用してインターネットで行いました。

また、E-TAXを使って個人送信する会員も増え、E-TAXで申告する会員は今年三十名を超えました。

今年より個人の白色申告の方で事業や不動産貸付等を行う全ての方は、今年の取引分から記帳と帳簿書類の保存が義務付けられました。記帳方法などお困りの際は、当公社へご相談ください。



留学生二十一人
角田を体験！

東京工業大学に留学している学生が角田市を訪れ、二月二十四日から二十七日まで農家にホームステイをしながら、農業や角田の生活を体験しました。

この事業は、同大学の留学生センターが、日本という国のできるだけ多くの面と接し、理解を深めて、留学という体験をより多くものにしてほしいということを目指して実施しているもので、角田を訪れるのは平成二十年度から始まり今年で六回目。今年はタイやフィリピン、中国など九か国二十二名が参加しました。

当公社が事業の窓口になり、ホームステイをアジアの農民と手をつなぐ会（面川義明代表）の十二戸の農家に委託して実施しました。（角田体験の様子を写真で紹介しします。）

【二月二十四日午後】
角田市を表敬訪問



小野副市長、佐藤議長、菊地教育長から歓迎を受けました



母国の歌なども飛び出しました。



君萱地区の神楽を見学。太鼓のたたき方を教えていただきました。



歓迎の交流会



シンケンファクトリーに場所を移してホームステイ先との対面式



東根小学校を訪問し、熱烈な歓迎を受けました。



引率の武井先生、工藤先生がホームステイ先を訪問

【二月二十五日】くホームステイ先で



ホームステイ先の人と楽しいひと時・・・



西根五区公民館で地域の皆さんからわら細工とそば打ちを教えてくださいました。

【二月二十六日】く集合研修



子牛にミルクをやりました・・・このほか、市内や近隣市町見学、仙台の家畜市場やJAXAの見学などそれぞれ、様々な体験をしました。



雪の残る畑でごぼう堀り・・・泥だらけになりながら奮闘



午後は震災の被害を受けた山元町の現場を見学。
復興の様子や中浜小学校の被災時の話を聞きました。
「東京に帰ったら友達にこのことをきちんと伝えたい」

悪戦苦闘しながらもおいしいそばができました。
・・・イタダキマス



【二月二十七日】くお別れです

武井先生から最後のご挨拶。
貴重な体験ができました。ホームステイ先の皆さんありがとうございました・・・。また来年も来ます。

体験したことをそれぞれ発表・・・角田のお父さんお母さんにお別れをしました。

この講演会は、日本の農業政策が大きく変更されようとしていることを踏まえ、角田の農業、農業経営者はどう対応したら良いのかを考えるきっかけにしようと、角田市農業経営者会議、角田市アグリパソコン研究会、角田地域担い手育成総合支援協議会が主催で開催したもの。当日は四十人余りの農家の方などが出席しました。土門氏は、減反政策の見直しの内容やTPP交渉の経緯と今後の見通しなどを詳しく、わかりやすく解説しました。出席者からは「米の値段はこれからどうなるの・・・」など率直な質問も出されました。



農業ジャーナリストの土門剛氏を招き、「農業大転換の中でどう生きるか」をテーマにした講演会が一月十七日角田駅オークプラザで開かれました。

農政大転換の中で・・・
く土門氏を招いて勉強会開くく



四月十八日(金)午後六時三十分くJAふれあいセンター虹において角田市農業機械銀行(理事長菊地勝治/会員数四十名)第四十回通常総会が行われました。来賓に小野隆男角田市副市長、舟山健一JAみやぎ仙南代表理事専務を迎え、本人出席十九名、委任状出席十一名、計三十名の出席で開会。はじめに菊地理事長から「第四十回という節目の総会、農業情勢は厳しい状況下にあるが、会員並びに角田市の農業振興のため一致団結して頑張っていきたい」との挨拶がありました。その後、総議長に枝野の八巻隆次さんを選出、事業報告や収支決算、今年度の計画・予算など第一号く第五号議案まで慎重審議を行いました。昨年実施できなかった日帰りの視察研修を今年は一泊二日に強化して行うことなど、執行部より提案のあった議事はすべて原案どおり承認されました。総会に引き続き行われた懇親会では、終始和やかな雰囲気の中で情報交換とさらなる親睦を深めていきました。

角田市農業機械銀行総会



平成 26 年度の農作業賃金標準額のお知らせ

角田市農業委員会は、平成 26 年度の農作業賃金標準額を次のとおり設定しました。
農作業受委託はお互いの信頼関係が大事です。両者の信頼関係のもとに作業や支払い等についてきちんとしましょう。

作業名		単位	標準額		備考
			消費税込額（内消費税）		
耕起	ロータリー	10a	4,860 円（360 円）		耕深 13cm 以上
	プラウ	10a	6,480 円（480 円）		ディスクプラウ・ボトムプラウ
砕土		10a	3,240 円（240 円）		
代かき		10a	5,940 円（440 円）		通常の代かき
耕起・砕土・代かき一貫作業		10a	14,040 円（1,040 円）		
育苗	稚苗	1箱	756 円（56 円）		箱処理剤使用の場合、実費を追加
	中苗	1箱	756 円（56 円）		箱処理剤使用の場合、実費を追加
田植	機械植え	10a	7,020 円（520 円）		植付作業のみ
	側条施肥付	10a	8,208 円（608 円）		植付作業のみ
苗運搬		10a	1,080 円（80 円）		
刈取	コンバイン （籾運搬含む）	10a 以上	21,276 円（1,576 円）		
		10a 未満 湿田・ 倒伏田	23,436 円（1,736 円）		籾運搬 1,296 円を含む （内消費税 96 円含む）
乾燥から調整まで		30Kg	918 円（68 円）		
調整		30Kg	432 円（32 円）		
色彩選別機		30Kg	324 円（24 円）		
水田防除		10a	864 円（64 円）		薬剤を含まない
肥料散布		10a	864 円（64 円）		機械による土づくり肥料散布
堆肥散布		10a	3,780 円（280 円）		マニュアルスプレッダ、堆肥散布 1.5 トン（積み込み・運搬含む）
畦畔づくり		10m	540 円（40 円）		片側のみ
畦畔刈払い		100m	1,080 円（80 円）		ただし、平坦地を標準とする
一般農作業		1日	7,200 円		区分は、受委託者協議の上決定。 料金は賃金の場合。請負契約の場合、 消費税が付加されます。
軽作業		1日	5,700 円		

*金額は消費税等込の総額表示です。平成 26 年 4 月より消費税 8% になりました。

*農作業受託料金を含む課税売上高が、1,000 万円以上の場合、消費税課税対象となります。

●ほ場条件（大区画ほ場、未整理地、飛び地等）や農作業の能率に著しい差異がある場合は、両者で協議して決定してください。

●1 日の労働時間は 8 時間です。超過作業の場合は両者で協議して決定してください。

●契約にあたっては、委託者、受託者の両者で十分な協議をしてください。

問い合わせ先 角田市農業委員会（電話 63-0133）